



下水道の災害復旧工事現場を視察(塩島区)

●議案第46号 平成27年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ32万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6億6千205万7千円とするもの。

\*人事異動に伴う人件費の増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

## 本会議ではこのような討論がありました

### ●請願第1号 地方自治の尊重を政府に求める請願

#### 反対討論

【津滝俊幸議員】

地方自治の堅持という観点においては、平成27年第1回議会定例会において、一部採択をし、さらに意見書を国に提出している経過がある。沖縄の問題は、国と沖縄県の二者の関係にとどまらず、国と地方との関係という観点で判断し、地方自治の堅持を求めることは、白馬村の公益性にもつながることであると判断して採択している。すでに意見書を提出済みであり、不採択と判断する。

#### 賛成討論

【伊藤まゆみ議員】

前回当議会が提出した意見書で求めた「面談の実現」は形式的には実現したが、内容は真摯かつお互いを尊重する対等平等な話し合いとは掛離れたもの。本請願は辺野古新基地建設の是非を問う請願ではない。地方自治の尊重を政府に求める請願であると同時に、私たち議会が国に追従するのか、それとも住民の側に立って「住民意思」と「団体自治」を守り、白馬村の平和を守る覚悟があるのかを問う請願でもある。

### ●陳情第4号 「安全保障法制法案」の撤回・廃案を求める意見書採択を求める陳情

#### 反対討論

【太田正治議員】

「安全保障法制法案」については、国民の間には多様な意見があり、理解が得られている状況とは言いがたい。国民に対しての説明や、十分な議論がなされていないと思われる。我が国を取り巻く国際環境の大きな変化の中で、自国の外交、防衛、将来に関わる重要な法案を、求められる議論もなくただ廃案とすることに対しては疑問があるが、議論の必要性は十分に理解できる。趣旨採択すべきものと考えられる。

#### 賛成討論

【加藤亮輔議員】

この法案は憲法審査会で自民党が推薦した、憲法学者も集団的自衛権は認めていない。憲法違反と表明した様に、9条違反である。日本は戦後70年間、平和憲法のもと、どこの国とも戦争を行わずにきたが。成立すれば自衛隊が海外に出かけ、他国民を傷つけ、殺し殺される戦争に巻き込まれ、自衛隊からも戦死者が出ることになる。子供のため、孫のためにも絶対成立させることは許せない。法案の撤回を求める陳情書に賛成。

## 意見書の修正案が提出されました

### ●発委第5号修正案 趣旨説明

【太田正治議員】

現在、我が国をとりまく国際関係は大きく変貌を遂げており、状況を鑑みると、この法案の持つ重要性は非常に大きいものであると考えられる。自国と国際社会の将来の平和と安全のためにも、法案については、早急な成立を目指すのではなく、我が国のあり方も含めた十分な国民的議論を尽くすことを強く求めるものである。